

kintsugi

飄

々

広報委員

田村 高志

2年ほど前だったか、オックスフォード英語辞典に kintsugi (金継ぎ) が収録された。karaoke や tsunami と同じようについに英単語になったのである。金継ぎとは、破損した陶磁器を修復する方法で漆を接着剤として用いた日本の伝統技術である。壊れたものを修復して使いたいという思いは太古の人々も持っていたようで、漆を用いて修復した形跡のある縄文土器も出土しているらしい。そもそも土器そのものが貴重だったのだろうが、長く使っていて愛着があったり使い心地を気に入って他に代えの効かないものであれば尚更である。破損前の状態に戻して使えるようになるのが修復であるが、それだけなら漆による接着だけでよい。修復された傷跡をあえて金粉や金箔などで装飾し始めたのは室町時代からのようで、それに価値を見出し世に広めたのは千利休といわれている。

前置きが長くなってしまった。実は気に入っていた備前焼のお皿を割ってしまい DIY で修復したことがあるので、その時のことを紹介してみる。

最初、お世話になっている陶器屋さんに修復の相談をしたところ、金継ぎセットがネットで買えるので、自分でやることを勧められた。半信半疑で調べてみると数千円から1万円くらいで筆や解説書などすべて揃ったセットが買えそうなのだが、漆の扱いがなかなか大変そう。さらに調べていると、ネットで修復を頼める業者さんもある。破損状態の写真を送るとメールで見積もりも取れそう。修復例を見たところ、おそらく数千円で修復できそうではある。あれこれ見ているうちに

数百円で買える接着剤を使った陶器の修復を解説しているサイトを発見。漆を使用した金継ぎもいいのだが、多様な接着剤が開発されている現代ではおそらく接着力や手軽さを考えても、接着剤を使った方がいいのではないかとの結論に達した。味わいのある金の筋の入った金継ぎも捨てがたいが、釉薬(うわぐすり)を用いた陶磁器であれば必須だと思われるもの、素焼きの備前焼の場合、金の筋はなくてもいいようにも思われる。どうしても必要なら、陶器用の金のアクリル絵具で後から入れるという手もあるらしい。

では具体的な手順を解説してみる。

1) 接着剤の選定

うちはなんでも食洗機に入れてしまうので、耐熱性は必須。食器なので万一口に入っても大丈夫なことが条件である。そうなる水性シリコン系接着剤一択のようで、セメダイン社『SuperX クリア 無溶剤』を用いることにした。ゴム状のシリコン樹脂が主成分で、耐熱温度はマイナス50℃～250℃。食洗機も問題なさそう。もう一つ、フランクリン社『Titebond III Ultimate 木工用接着剤』も陶器の修復によさそうなのだが、厳密には食器への使用は推奨されていないようだったので却下した。

2) 作業の実際(説明書に書いてあるのだが、実際に私が行った手順)

- (1) 付属のヘラの薄塗り面を使用し、接着する両面に接着剤を薄く均一に塗布する。
- (2) 全部の面に塗り終わったら、8分間そのまま待つ。空気中の水分を吸って粘着力が出る

- らしい。気温が高いと早く硬くなるとのこと。
- (3) 8分後、粘着性が出て来たら、すぐに貼り合わせ強く押さえる。この時、接着剤がはみ出てもあまり気にしない。大きくはみ出れば、爪楊枝でからめるといい。だが余分な部分を減らそうと取りすぎると、接着面の接着剤まで取れてしまうので無理はしない。
 - (4) 約1～2時間で動かなくなり、約24～48時間で実用強度に達する。
 - (5) 実用強度に達した後、はみ出たゴム状の接着剤をカッターなどで削り取る。指で擦り取ることも有効。

上記手順で無事に修復完了。通常程度の力が加わっても不安感はなく問題なさそう。お皿なので水漏れは検証できていないが、食洗機は問題なく使えている。接着剤のみなのでパッと見ただけでは破損箇所がわからず、敢えて金の筋を入れてみたい気がしている今日この頃である。

金継ぎが英単語になった背景だが、壊れた器を再生する技術というだけでなく、再生された不完全な器に新たな価値を感じる日本人独特の感性が海外にも紹介されたことによると思われる。実際、訪日外国人を対象とした金継ぎ体験が盛況らしい。金継ぎを通して、不完全でもいいんだよ、完璧を求めなくていいんだよという思想に心の安らぎを覚えるとの意見もあった。歳を重ねると完全な健康体であることは難しい。病気があってもいいんだよ、不健康でもいいんだよ、つい飲み過ぎることがあってもいいじゃないか。

kintsugi は素晴らしい！

おまけ

最近知ったのだが「ikigai (生きがい)」も日本語だけにある言葉らしい。「karoshi (過労死)」が記載される日が来ないことを祈るが、個人的には「azatoi」が気になっている(笑)。

死体検案数掲載について

山口県警察管内発生の死体検案数								
	自殺	病死	他殺	他過失	自過失	災害	その他	合計
Feb-26	18	198	1	0	5	0	18	240

死体検案数と死亡種別 (令和8年2月分)

